

事務事業名	総合相談事業	事務事業No.	10603000032	所属課	高齢福祉課
<p>(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 平成18年4月に介護保険制度の法改正が行われ、本市では、経過措置を経て平成20年3月に直営（市）で地域包括支援センターを1ヶ所設置し、必須事業として総合相談事業を開始した。 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査によると、多くの人が家族や友人の協力が得られる環境にあるが、一方で家族や友人以外の相談相手がない方が、40.0%となっている。 相談内容も多様化・複雑化していることから相談支援体制の強化が求められる。</p>					
<p>(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特になし</p>					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 高齢者やその家族に応じて適切な機関やサービスに繋げることは、高齢者が安心して暮らせるまちづくりに繋がってくるので、高齢者福祉の推進に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 地域包括支援センターは介護保険法に基づいて運営されており、高齢者の相談内容も多様化、複雑化していることから、直営で対応していく事業として妥当である。
	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 高齢者本人やその家族の相談について地域包括ケアセンターにて随時相談体制が整えられており、地域の支援に結び付けている為向上余地がない。
有効性	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 高齢者の相談に対して一義的な役割を担っていることから、なくなってしまうことで高齢者の問題に対応することが出来なくなり、多大な影響がある。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 単独の必須事業であり、統廃合の可能性はない。
効率性	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 事業内容は、相談の受付や対応であり、事業費は計上していない。保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員が対応している。相談内容も複雑化・多様化しているので問題解決に向けた対応が長期化することが多く、事業時間の削減は困難である。
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市内のすべての高齢者や家族が相談できる機会を有しており、公平・公正である。また、相談・対応において費用負担を求めるところはない。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果</p> <p>①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p>		<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>相談延件数は232件と年々増加している。家族関係や金銭状況の問題により、長期化するケースが多く見られた。定期的に経過確認をすることで、状況が悪化することを未然に防ぎ、問題解決へ繋げていくことができた。</p>																		
<p>(3) 今後の事業の方向性</p> <p><input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる</p>		<p>(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>	成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○	×			×	×	×
成果	向上 維持 低下	コスト																		
		削減	維持	増加																
			○	×																
		×	×	×																
<p>(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p>		<p>(6) 事務事業優先度評価結果</p> <p>成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤</p>																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

<p>(1) 課長評価</p> <p>課長確認後の評価</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出</p>	<p>(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)</p> <p>確認欄 <input type="checkbox"/></p>
--	---